

2018年度  
事業報告書及び財務諸表等

- 一 事業報告書
- 一 貸借対照表
- 一 正味財産増減計算書
- 一 正味財産増減計算書内訳表
- 一 財務諸表に対する注記
- 一 附属明細書
- 一 財産目録

自 2018年4月1日

至 2019年3月31日

公益財団法人 戸部眞紀財団

# 2018年度 事業報告書

(2018年4月1日より2019年3月31日まで)

公益財団法人戸部眞紀財団

当法人は、学部学生及び大学院学生に対する支援、研究団体等に対する助成を行うことにより、文化芸術及び科学技術の振興、さらには人材育成の促進に寄与することを目的として2013年12月6日に設立し、2014年6月13日に公益認定を受け、奨学助成事業を開始いたしました。2018年度は設立5周年となる重要な節目となる年であり、前年よりも事業規模を更に拡大し、引き続き学部学生、大学院学生並びに研究団体等に対する支援事業を行いました。以下、2018年度の事業状況をご報告いたします。

## I 全体の概況

2018年度は、前年度より奨学生および研究団体等の採用件数を増加しました。従前より引き続き、大学生（学部学生および大学院生）への奨学金の給付および助言、また研究団体等に対する研究助成金の給付を行いました。

## II 事業の概況

<1> 学生等に対する支援事業 計 68,400千円

### (1) 2017年度採用者の給付期間延長について

2017年度に採用した一部の奨学生について、2018年度一年間に限り、給付期間を延長して採用いたしました。2018年1月から3月にかけて申請書受付および選考を行い、45名の奨学生を本年度も継続して奨学金の給付を行いました。

### (2) 2018年度 新規採用について

2018年3月から5月にかけて、第5期生となる奨学生の募集を、推薦および公募により実施いたしました。当法人のホームページに募集要項を掲示し、且つ全国の国公立および私立大学約200大学へ募集要項を記載したパンフレットを送付することにより、募集を行いました。

- ・対象分野：化学、食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学
- ・対象学生：学部学生（3年生以上）  
大学院学生（修士課程、博士課程）
- ・対象資格：日本の大学又は大学院で修学している者  
年齢が30才以下（2018年4月1日現在）の者  
奨学金を得ることで学業や研究により一層の深化、発展が期待される者 他

- ・ 給付額 : 年額 600,000 円
- ・ 給付期間 : 2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日まで

### (3) 選考について

期間内に推薦および公募を含めて 521 名の応募があり、選考委員による厳正な審査を行った結果、理事長による最終決定により 70 名を採用いたしました。

2017 年度からの給付期間延長、2018 年度推薦および公募を合わせて、2018 年度は合計 115 名の奨学生を採用いたしました。

採用者には、月額 5 万円を隔月で 2019 年 2 月まで振込を行い、年額 600 千円を支給いたしました。2018 年度の奨学金支給実績は、奨学生 115 名に対して年間合計で 68,400 千円になりました。

## <2>. 研究団体等に対する助成事業

計 20,000 千円

### (1) 募集について

2018 年度 3 月から 4 月にかけて、研究助成金の募集を行いました。当法人のホームページに募集要項を掲示し、また全国の国公立および私立大学約 200 大学へ募集要項を記載したパンフレットを送付することにより、募集を行いました。

- ・ 対象分野 : 化学、食品科学、芸術学、体育学/スポーツ科学、経営学
- ・ 対象団体 : 日本の大学および同等の研究機関に所属する研究団体、または研究者であること
- ・ 対象資格 : 代表者の年齢が 40 歳以下であること  
モノマネではない独創的な発想を基にした革新的な研究であり、将来広く社会に貢献するものであること 他
- ・ 研究期間 : 2018 年 9 月から 2019 年 8 月まで 1 年間
- ・ 給付額 : 年額 1,000,000 円

### (2) 選考について

全国の研究団体または研究者より、募集期間内に 149 件の研究課題の応募があり、選考委員による厳正なる審査を行った結果、理事長による最終決定により 20 件の研究課題を採用いたしました。

採用した研究団体または研究者には、研究期間を 2018 年 9 月から 2019 年 8 月までとして、年額 1,000 千円を支給いたしました。2018 年度の助成金支給実績は、研究助成 20 件に対して年間合計で 20,000 千円になりました。

〈3〉. 交流活動について

計 10,277 千円

採用された奨学生および研究団体の代表者を対象に、年1回交流会を行い、採用者への助言、或いは採用者同士や当法人との親睦を図ることで、人材育成の一助としております。

2018年度は、8月26日および8月27日に1泊2日で交流会を開催しました。奨学生95名、研究団体代表者は昨年の受給者の方を含み21名、当法人関係者は役員ほか事務局含め26名の総勢142名が参加しました。初日は神戸市内で開催し、理事長より奨学生および研究団体代表者全員へ認定証を手渡しによる授与を行ったほか、奨学生6名、研究団体代表者3名による研究発表会を行い、当法人関係者と採用者間での闊達な意見交換を行いました。また、奨学生による作品の出展および演奏の披露等を行い、異分野交流の場として活用していただきました。

2日目は徳島県内の大塚グループの研究所、工場および大塚国際美術館の見学、並びに5周年を記念してゲストによるお話をいただく等、医薬品の研究や製造工程、芸術や経営に至るまで造詣を深める機会を提供いたしました。交流会2日間で合計10,277千円を支出いたしました。

〈4〉. その他目的を達成する為に必要な事業費

計 16,813 千円

学生等に対する支援事業および研究団体等に対する助成事業に係る、募集および選考に関する費用として合計16,813千円を支出致しました。

(内訳)

- ・ 募集および選考に係る人件費や会議等の諸費用
- ・ 2017年度研究成果報告書・活動報告書の印刷費および発送費
- ・ 2019年度の募集要項に係るホームページ制作費、パンフレット印刷費および発送費
- ・ 事務所家賃 その他

事業費合計

合計 115,491 千円

### Ⅲ 法人運営の概況

#### <1>. 役員に関する事項

2019年3月31日現在における役員、評議員は以下の通りです。

役 職	氏 名 (敬称略)	常勤・非常勤	任 期
評議員	戸部 克信	非常勤	2020年度に関する定時評議員会の終結の時まで
評議員	藤関 勝宏	〃	
評議員	石見 利勝	〃	
評議員	黒田 泰弘	〃	
評議員	木村 俊作	〃	
評議員	竹内 定夫	〃	
評議員	北村 卓三	〃	
理事 (理事長)	戸部 貞信	非常勤	2018年度に関する定時評議員会の終結の時まで
理事 (常務理事)	戸部 渉	常勤	
理事	古川 武弘	非常勤	
理事	武藤 芳照	〃	
理事	野村 正朗	〃	
理事	大高 保二郎	〃	
理事	小林 四郎	〃	
監事	尾崎 三郎	非常勤	2020年度に関する定時評議員会の終結の時まで
監事	中島 馨	〃	

<2>. 会議などに関する事項

(1) 理事会

2018年度の理事会開催内容は、以下の通りとなっております。

開催年月日	議案事項	結果
2018年5月21日 (定時理事会)	1. 2017年度事業報告、計算書類等承認の件 2. 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程」の改定の件 3. 定時評議員会招集の決定の件 4. 諸規程の新設、改定の件  <報告> 代表理事、常務理事の職務の執行の 状況の報告	承認 承認 承認 承認  —
2018年6月4日 (報告の省略の方法)	<報告> 2018年度奨学金指定校被推薦者審査結果ご報告の件	—
2018年6月28日 (報告の省略の方法)	<報告> 2018年度奨学金(公募)、研究助成金採否結果ご報告の件	—
2018年12月18日 (臨時理事会)	1. 2019年度募集要項(案) 2. 2019年開催定時理事会・交流会の日程	承認 承認
2019年3月18日 (定時理事会)	1. 2019年度事業計画及び収支計画の件 2. 2019年度資金調達及び設備投資の見込みの件 3. 大塚ホールディングス株式会社の第11期定時株主総会における議決権行使の件 4. 選考委員会開催日程の件  <報告> 代表理事、常務理事の職務の執行の 状況の報告	承認 承認 承認 承認  —

## (2) 評議員会

2018年度の評議員会開催内容は、以下の通りとなっております。

開催年月日	議案事項	結果
2018年6月13日 (定時評議員会)	1. 2017年度 貸借対照表、正味財産増減 計算書、及び財産目録承認の件 (期間：2017年4月1日から2018年3 月31日まで)	承認
	2. 「役員及び評議員の報酬等並びに費用に 関する規程」の改定及び経過措置の件	承認
	<報告>2017年度 事業報告の件	—

### IV 附属明細書について

2018年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成いたしません。

以上

## 貸借対照表

平成 31 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	57,203,519	49,554,665	7,648,854
前払金	108,648	96,768	11,880
立替金	234	20,976	△20,742
貯蔵品	20,354	13,092	7,262
流動資産合計	57,332,755	49,685,501	7,647,254
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	3,696,650,000	4,529,650,000	△833,000,000
基本財産合計	3,696,650,000	4,529,650,000	△833,000,000
(2) 特定資産			
指定寄附積立資産	0	6,800,000	△6,800,000
指定運用益積立資産	20,000,000	20,000,000	0
受贈株式等積立資産	1,739,600,000	2,131,600,000	△392,000,000
特定資産合計	1,759,600,000	2,158,400,000	△398,800,000
(3) その他固定資産			
固定資産合計	5,456,250,000	6,688,050,000	△1,231,800,000
資産合計	5,513,582,755	6,737,735,501	△1,224,152,746
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,665,423	403,896	1,261,527
預り金	6,500	5,900	600
流動負債合計	1,671,923	409,796	1,262,127
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	1,671,923	409,796	1,262,127
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	0	6,800,000	△6,800,000
受取配当金	20,000,000	20,000,000	0
受贈投資有価証券	5,436,250,000	6,661,250,000	△1,225,000,000
指定正味財産合計	5,456,250,000	6,688,050,000	△1,231,800,000
(うち基本財産への充当額)	(3,696,650,000)	(4,529,650,000)	(△833,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(1,759,600,000)	(2,158,400,000)	(△398,800,000)
2. 一般正味財産	55,660,832	49,275,705	6,385,127
正味財産合計	5,511,910,832	6,737,325,705	△1,225,414,873
負債及び正味財産合計	5,513,582,755	6,737,735,501	△1,224,152,746



## 正味財産増減計算書

平成 30 年 4 月 1 日 から 平成 31 年 3 月 31 日 まで

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	85,000,000	85,000,000	0
基本財産受取配当金	85,000,000	85,000,000	0
特定資産運用益	40,000,000	40,000,000	0
特定資産受取配当金振替額	40,000,000	40,000,000	0
受取寄付金	6,800,000	1,200,000	5,600,000
受取寄付金振替額	6,800,000	1,200,000	5,600,000
雑収益	475	424	51
受取利息	475	424	51
経常収益計	131,800,475	126,200,424	5,600,051
(2) 経常費用			
事業費	115,490,555	105,035,821	10,454,734
役員報酬	300,000	300,000	0
支払報酬	2,421,000	2,200,000	221,000
給料手当	7,543,389	9,111,218	△1,567,829
法定福利費	1,500,696	1,718,220	△217,524
派遣人件費	53,364	72,136	△18,772
奨学生給付金	68,400,000	62,700,000	5,700,000
団体研究機関助成費	20,000,000	15,999,784	4,000,216
奨学生指導費	8,217,279	6,998,328	1,218,951
会議費	560,514	474,624	85,890
旅費交通費	1,161,065	1,106,648	54,417
通信運搬費	164,450	294,176	△129,726
消耗品費	59,483	38,942	20,541
印刷製本費	3,093,169	2,283,426	809,743
支払手数料	439,992	310,176	129,816
保険料	90,422	89,639	783
地代家賃	1,485,732	1,338,504	147,228
管理費	9,924,793	10,488,679	△563,886
役員報酬	1,980,000	2,280,000	△300,000
給料手当	1,885,850	2,277,805	△391,955
法定福利費	375,173	429,549	△54,376
福利厚生費	66,043	41,379	24,664
派遣人件費	453,106	281,807	171,299
会議費	501,808	537,111	△35,303
旅費交通費	765,564	861,443	△95,879
通信運搬費	531,717	371,035	160,682
消耗品費	554,393	583,253	△28,860
保険料	33,320	18,360	14,960
支払手数料	2,048,607	2,119,154	△70,547
諸税公課	10,400	1,215	9,185
諸会費	151,680	156,240	△4,560
地代家賃	371,436	334,632	36,804
リース料	195,696	195,696	0
経常費用計	125,415,348	115,524,500	9,890,848
評価損益等調整前当期経常増減額	6,385,127	10,675,924	△4,290,797
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	6,385,127	10,675,924	△4,290,797
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	6,385,127	10,675,924	△4,290,797
一般正味財産期首残高	49,275,705	38,599,781	10,675,924
一般正味財産期末残高	55,660,832	49,275,705	6,385,127
II 指定正味財産増減の部			
特定資産運用益	40,000,000	40,000,000	0
特定資産受取配当金	40,000,000	40,000,000	0
基本財産評価益	0	260,950,000	△260,950,000
基本財産評価益	0	260,950,000	△260,950,000
特定資産評価益	0	122,800,000	△122,800,000
特定資産評価益	0	122,800,000	△122,800,000
基本財産評価損益等	△833,000,000	0	△833,000,000
基本財産評価損益等	△833,000,000	0	△833,000,000
特定資産評価損益等	△392,000,000	0	△392,000,000
特定資産評価損益等	△392,000,000	0	△392,000,000
一般正味財産への振替額	△46,800,000	△41,200,000	△5,600,000
一般正味財産への振替額	△46,800,000	△41,200,000	△5,600,000
当期指定正味財産増減額	△1,231,800,000	382,550,000	△1,614,350,000
指定正味財産期首残高	6,688,050,000	6,305,500,000	382,550,000
指定正味財産期末残高	5,456,250,000	6,688,050,000	△1,231,800,000
III 正味財産期末残高			
正味財産期末残高	5,511,910,832	6,737,325,705	△1,225,414,873

## 正味財産増減計算書内訳表

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計				法人会計	合計
	公 1	公 2	共通	小計		
I 一般正味財産増減の部						
1. 経常増減の部						
(1) 経常収益						
基本財産運用益	0	0	63,750,000	63,750,000	21,250,000	85,000,000
基本財産受取配当金	0	0	63,750,000	63,750,000	21,250,000	85,000,000
特定資産運用益	40,000,000	0	0	40,000,000	0	40,000,000
特定資産受取配当金振替額	40,000,000	0	0	40,000,000	0	40,000,000
受取寄付金	1,800,000	5,000,000	0	6,800,000	0	6,800,000
受取寄付金振替額	1,800,000	5,000,000	0	6,800,000	0	6,800,000
雑収益	0	0	0	0	475	475
受取利息	0	0	0	0	475	475
経常収益計	41,800,000	5,000,000	63,750,000	110,550,000	21,250,475	131,800,475
(2) 経常費用						
事業費	90,435,039	25,055,516	0	115,490,555	0	115,490,555
役員報酬	245,690	54,310	0	300,000	0	300,000
支払報酬	1,882,322	538,678	0	2,421,000	0	2,421,000
給料手当	6,425,851	1,117,538	0	7,543,389	0	7,543,389
法定福利費	1,278,486	222,210	0	1,500,696	0	1,500,696
派遣人件費	43,703	9,661	0	53,364	0	53,364
奨学生給付金	68,400,000	0	0	68,400,000	0	68,400,000
団体研究機関助成費	0	20,000,000	0	20,000,000	0	20,000,000
奨学生指導費	6,785,020	1,432,259	0	8,217,279	0	8,217,279
会議費	450,641	109,873	0	560,514	0	560,514
旅費交通費	925,910	235,155	0	1,161,065	0	1,161,065
通信運搬費	156,223	8,227	0	164,450	0	164,450
消耗品費	49,255	10,228	0	59,483	0	59,483
印刷製本費	2,071,102	1,022,067	0	3,093,169	0	3,093,169
支払手数料	381,155	58,837	0	439,992	0	439,992
保険料	74,053	16,369	0	90,422	0	90,422
地代家賃	1,265,628	220,104	0	1,485,732	0	1,485,732
管理費	0	0	0	0	9,924,793	9,924,793
役員報酬	0	0	0	0	1,980,000	1,980,000
給料手当	0	0	0	0	1,885,850	1,885,850
法定福利費	0	0	0	0	375,173	375,173
福利厚生費	0	0	0	0	66,043	66,043
派遣人件費	0	0	0	0	453,106	453,106
会議費	0	0	0	0	501,808	501,808
旅費交通費	0	0	0	0	765,564	765,564
通信運搬費	0	0	0	0	531,717	531,717
消耗品費	0	0	0	0	554,393	554,393
保険料	0	0	0	0	33,320	33,320
支払手数料	0	0	0	0	2,048,607	2,048,607
諸税公課	0	0	0	0	10,400	10,400
諸会費	0	0	0	0	151,680	151,680
地代家賃	0	0	0	0	371,436	371,436
リース料	0	0	0	0	195,696	195,696
経常費用計	90,435,039	25,055,516	0	115,490,555	9,924,793	125,415,348
評価損益等調整前当期経常増減額	△48,635,039	△20,055,516	63,750,000	△4,940,555	11,325,682	6,385,127
評価損益等計	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△48,635,039	△20,055,516	63,750,000	△4,940,555	11,325,682	6,385,127
2. 経常外増減の部						
(1) 経常外収益						
経常外収益計	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用						
経常外費用計	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△48,635,039	△20,055,516	63,750,000	△4,940,555	11,325,682	6,385,127
他会計振替額	48,635,039	20,055,516	△58,690,555	10,000,000	△10,000,000	0
当期一般正味財産増減額	0	0	5,059,445	5,059,445	1,325,682	6,385,127
一般正味財産期首残高	0	0	32,003,148	32,003,148	17,272,557	49,275,705
一般正味財産期末残高	0	0	37,062,593	37,062,593	18,598,239	55,660,832
II 指定正味財産増減の部						
特定資産運用益	40,000,000	0	0	40,000,000	0	40,000,000
特定資産受取配当金	40,000,000	0	0	40,000,000	0	40,000,000
基本財産評価損益等	0	0	△624,750,000	△624,750,000	△208,250,000	△833,000,000
基本財産評価損益等	0	0	△624,750,000	△624,750,000	△208,250,000	△833,000,000
特定資産評価損益等	△392,000,000	0	0	△392,000,000	0	△392,000,000
特定資産評価損益等	△392,000,000	0	0	△392,000,000	0	△392,000,000
一般正味財産への振替額	△41,800,000	△5,000,000	0	△46,800,000	0	△46,800,000
一般正味財産への振替額	△41,800,000	△5,000,000	0	△46,800,000	0	△46,800,000
当期指定正味財産増減額	△393,800,000	△5,000,000	△624,750,000	△1,023,550,000	△208,250,000	△1,231,800,000
指定正味財産期首残高	2,153,400,000	5,000,000	3,397,237,500	5,555,637,500	1,132,412,500	6,688,050,000
指定正味財産期末残高	1,759,600,000	0	2,772,487,500	4,532,087,500	924,162,500	5,456,250,000
III 正味財産期末残高						
正味財産期末残高	1,759,600,000	0	2,809,550,093	4,569,150,093	942,760,739	5,511,910,832

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

- (1) 採用している会計基準  
「公益法人会計基準」(平成20年4月11日 平成21年10月16日改正内閣府公益認定等委員会)を採用している。
- (2) 有価証券の評価基準及び評価方法  
上場株式・・・期末日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)によっている。

### 2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	4,529,650,000	0	833,000,000	3,696,650,000
小 計	4,529,650,000	0	833,000,000	3,696,650,000
特定資産				
指定寄附積立資産	6,800,000	0	6,800,000	0
指定運用益積立資産	20,000,000	40,000,000	40,000,000	20,000,000
受贈株式等積立資産	2,131,600,000	0	392,000,000	1,739,600,000
小 計	2,158,400,000	40,000,000	438,800,000	1,759,600,000
合 計	6,688,050,000	40,000,000	1,271,800,000	5,456,250,000

### 3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	3,696,650,000	(3,696,650,000)	(0)	(0)
小 計	3,696,650,000	(3,696,650,000)	(0)	(0)
特定資産				
指定運用益積立資産	20,000,000	(20,000,000)	(0)	(0)
受贈株式等積立資産	1,739,600,000	(1,739,600,000)	(0)	(0)
小 計	1,759,600,000	(1,759,600,000)	(0)	(0)
合 計	5,456,250,000	(5,456,250,000)	(0)	(0)

### 4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経営収益への振替額	46,800,000
目的達成による指定解除額	
合 計	46,800,000

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

区 分	資産の種類	期首帳簿価額	当期増加額	当期減少額	期末帳簿価額
基本財産	投資有価券	4,529,650,000		833,000,000	3,696,650,000
	基本財産計	4,529,650,000	0	833,000,000	3,696,650,000
特定資産	指定寄附積立資産	6,800,000		6,800,000	0
	指定運用益積立資産	20,000,000	40,000,000	40,000,000	20,000,000
	受贈株式等積立資産	2,131,600,000		392,000,000	1,739,600,000
	特定資産計	2,158,400,000	40,000,000	438,800,000	1,759,600,000

2. 引当金の明細

期首及び期末に引当金は存在しない。

財 産 目 録

平成 31 年 3 月 31 日 現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)				
	現金預金	普通預金 りそな銀行大阪営業部	運転資金として	57,203,519
	前払金	その他	2019年6月 理事会 会場費	108,648
	立替金	その他	年末調整還付金	234
	貯蔵品	レターパック27枚 切手76枚	公益目的事業及び管理目的の 業務に使用するレターパック 及び切手の在庫	20,354
流動資産合計				57,332,755
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	大塚ホールディング(株) 株式850,000株	基本財産は全額共用財産で、 うち75%は公益目的保有財産 であり、その運用益を公益 目的事業の財源として使用 している。 残り25%は管理目的の業務 に供する財産であり、 その運用益を管理費の財源 として使用している。	3,696,650,000
特定資産	指定運用益積立資産	普通預金 りそな銀行大阪営業部	指定運用益積立資産は全額 公益目的事業財産 (6号財産) であり、公1事業の財源と して使用している。	20,000,000
	受贈株式等積立資産	大塚ホールディング(株) 株式400,000株	受贈株式等積立資産は全額 公益目的事業財産 (5号財産) であり、その運用益を公1 事業の財源として使用して いる。	1,739,600,000
固定資産合計				5,456,250,000
資産合計				5,513,582,755
(流動負債)				
	未払金	その他	2019年3月開催 理事会 会場費及び出席報酬、 並びに活動報告書・研究成果 報告書 印刷費等	1,665,423
	預り金	その他	従業員 住民税 (3月度分)	6,500
流動負債合計				1,671,923
(固定負債)				
固定負債合計				0
負債合計				1,671,923
正味財産				5,511,910,832